



岩国医療センターだより

2025年1・2月号 VOL.157

ご自由にお持ちください。



放射線科：新規導入のRI撮影装置

目次

② 特集【放射線科だより】
RI検査機器を更新しました

④ 放射線技師より
RI装置 更新のお知らせ
第3回 認定看護師の紹介

⑤ 【放射線科だより】
PET-CTがんドックをはじめました

⑥ 【看護部だより】
『外来』のご紹介

⑦ 【緩和ケアだより】
緩和ケアとリハビリテーション
～リハビリの目的と役割について～

⑧ インフォメーション



特集

RI 検査機器を
更新しました

放射線科医長 矢吹 隆行

日本医学放射線学会 放射線診断専門医
日本 IVR 学会 IVR 専門医

RI (Radio Isotope) 検査は、特定の組織や臓器・細胞の機能や代謝情報を画像化・数値化する検査です。歴史の古い検査ではありますが、残念ながら CT や MRI 検査 (画像) と比べ空間分解能 (解像度) の点で大きく劣るため、現在は補助的な検査として施行されることが多いです。しかし、使用する薬剤 (放射性医薬品、多種あります) により検査目的や部位は多彩で、他の検査では得ることができない有用な情報がつかめ、疾患の良悪性の鑑別・病期決定・治療効果の判定などに用いられています。1 回の検査で、全身を撮影することができます。

当院では 1980 年代より RI 検査を行っていますが、前機器 (数代目) の老朽化により、このたび検査機器を更新しました。新しい機器は、Symbia Evo Excel (シーメンスヘルスケア社製) です。前機器と比較して画質が向上し、心機能評価の対象が広がり、空間的に検査が楽になりました。岩国医療圏内では、唯一の機器になります。



【新しい RI 撮影装置 Symbia Evo Excel (シーメンスヘルスケア株式会社)】



RI 検査について

RI 検査は、放射性医薬品 (放射線を出している薬剤) を、体内に投与することで行います。投与された放射性医薬品は、目的の病変や臓器に集まります。それより (体内から) 放出される放射線を撮影し、画像を作成します。

放射線被ばくがありますが、かなり少量で、1 回の検査で健康に対する悪影響はありません。この検査の長所・短所は、以下のような点です。

長所

- 検査の安全性が高い・身体の負担が少ない
- 使用する薬剤を変えることで、多くの検査部位・検査目的に対応できる
- 形態だけでなく、機能を反映した画像を取得することができる
- 薬剤の分布の経時的变化をグラフ化することができる
- 薬剤の集積の程度を色分けして、見やすい・判断しやすい画像を作成することができる
- 薬剤の集積を定量的に評価することもできる
- 全身を評価することも、局所を評価することもできる

短所

- 画像の空間分解能が悪い
- 少量ですが、放射線被ばくがある
- 一部の検査は、時間がかかる
- 薬剤が高価である

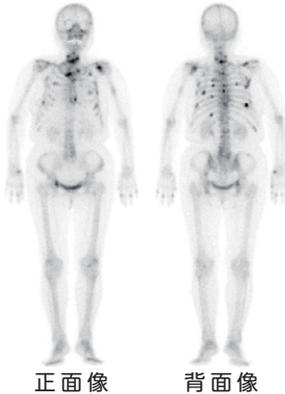


当院で行っている RI 検査

RI 検査は非常に多種の検査があります。そのうち、当院で施行できるものは 30 種類程度です。当院で行っている RI 検査で、検査頻度が高いもの・頻度は低いが有用・特徴のあるものを紹介します。(RI 検査で作成された画像を、シンチグラフィと言います。)

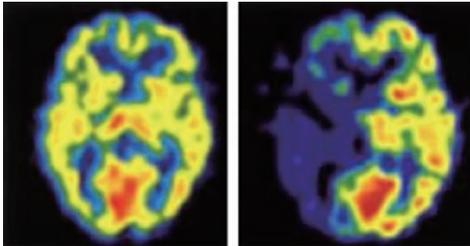
検査の頻度が高いもの

- 骨シンチグラフィ：がんの全身の骨転移などを評価するのに有用です。(薬剤： ^{99m}Tc -MDP)



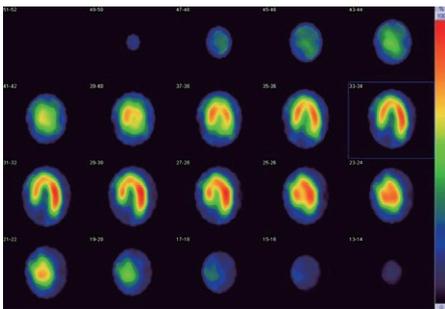
正面像 背面像
【骨シンチグラフィの画像】

- 脳血流シンチグラフィ：脳実質の血流の分布と量を評価できます。(薬剤： ^{123}I -IMP)



【脳血流シンチグラフィの画像】

- 心筋血流シンチグラフィ：心臓の血流の分布と量を評価できます。(薬剤： ^{201}Tl -Cl)

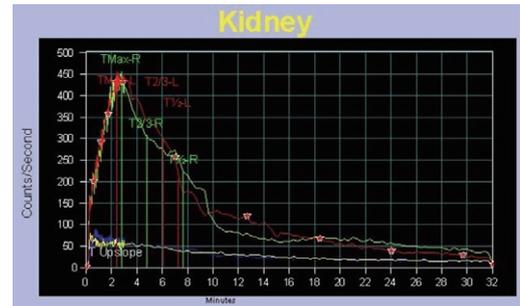


【心筋血流シンチグラフィの画像】

- 心筋ピロリン酸シンチグラフィ：心アミロイドーシスの診断に有用です。(薬剤： ^{99m}Tc -PYP)
- 神経受容体シンチグラフィ(ダットスキャン)：パーキンソン病などの診断に有用です。(薬剤： ^{123}I -FP-CIT)

検査頻度は低いが、有用・特徴のあるもの

- 腎シンチグラフィ・レノグラム：腎機能を評価し、グラフ化もできます。(薬剤： ^{99m}Tc -MAG3)



【腎シンチグラフィ、レノグラムの画像】

- 肝受容体シンチグラフィ：肝機能を評価できます。(薬剤： ^{99m}Tc -GSA)
- 甲状腺シンチグラフィ：甲状腺の機能や形態を評価できます。(薬剤： $^{99m}\text{TcO}_4^-$)
- ガリウムシンチグラフィ：腫瘍や炎症の検索に適しています。(薬剤： ^{67}Ga -citrate)
- 脳槽シンチグラフィ：低髄液圧症候群の診断に有用です。(薬剤： ^{111}In -DTPA)

当院では、これらの多様な検査画像を、放射線科診断専門医・各々の領域の専門医が詳細に評価しています。



今月号表紙にて、RI 撮影装置を紹介しています。

放射線技師より

RI (核医学) 装置「Symbia Evo Excel」 更新のお知らせ

当院の RI 装置を、2024 年 8 月より
「Symbia E (シーメンスヘルスケア株式会社)」
から
「Symbia Evo Excel (シーメンスヘルスケア株式会社)」
に更新しました。



画像提供：シーメンスヘルスケア株式会社



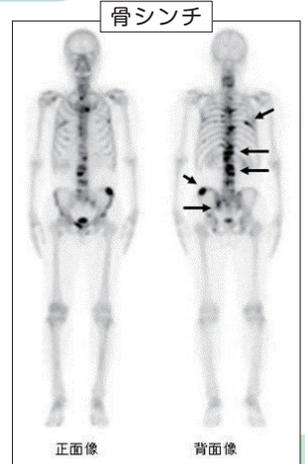
放射線科
八木 駿明

..... RI 検査とは

核医学検査は RI (アールアイ) 検査やシンチグラフィとも呼ばれ、特定の臓器や組織に集まりやすい性質を持った放射性医薬品を患者さんに投与し、目的の臓器や組織から放出される放射線 (ガンマ線) を専用のカメラを用いて、その分布を画像化します。

当院では、脳血流シンチ・心筋シンチ・骨シンチ・内分泌シンチ等を行っています。例として、骨シンチグラフィでは骨に集積する薬剤を用いて全身の骨の形態を画像化します。病変部は、右画像の矢印の様に描出されます。

核医学検査では、他院からの紹介検査をお受けしています。丁寧でスムーズな検査を心がけて参りますので、検査が必要な患者さんがいらっしゃいましたら、当院までご相談ください。



第3回 認定看護師の紹介

摂食・嚥下障害看護認定看護師 大川 宏美



～趣味～
生け花

最近の趣味は、休日で実家に帰省した時に、生け花をして気持ちを切り替えることです。



～摂食・嚥下障害看護認定看護師とは～

摂食・嚥下障害とは、病気や高齢に伴う障害で食べること・飲み込むことができなくなる障害で、食事や水分などがうまく食べられない・飲み込めないような状態をいいます。そのような障害のある方に対し、食べる動作から飲み込むまでの機能の評価や口腔ケア方法、食事を摂取する方法を判断し、誤嚥性肺炎・窒息・低栄養・脱水などの予防や改善を行いながら、口から食べることの楽しみや喜びを感じていただけるように支援していきます。

認定看護師になったきっかけ

私は会社員や看護助手・准看護師の経験を経て、36歳で看護師になりました。看護師3年目の時に、看護師長さんからの「食べるということは人にとって重要な事だし、これから病院や地域の施設に必要な分野だから、この分野の認定看護師になってほしい」と声掛けに頷いたのが始まり

です。以後、摂食・嚥下障害看護の研修や講義に参加し、勉強をしました。

2016年に摂食・嚥下障害看護認定看護師を取得し、現在は一番やりがいのある脳神経外科病棟で働いています。

現在の仕事について

現在、脳神経外科病棟に所属しながら、栄養サポートチームと協働し、全病棟患者さん対象に栄養や食事形態の調整をしています。また、口腔内環境を整えながら、言語聴覚士と協力して摂食・嚥下障害のある患者さんが“少しでも口から食べられる”ように介入をしています。さらに、病院内の研修会を開催したり、地域病院や介護施設に訪問したりして、窒息のリスクが高い患者さん・誤嚥する患者さんへの摂食嚥下に関する知識や技術について幅広く啓蒙しています。





放射線科 診療放射線技師 松岡 直樹

PET-CT がんどックを はじめました



画像提供：シーメンスヘルスケア株式会社

当院は、2024年5月にPET-CT装置をBiograph Horizonに更新し、7月よりPET-CT がんどック（検診）を始めました。

従来は保険診療検査のみを行っていましたが、PET-CT がんどックを始めたことでより多くの方に検査を受けていただくことができるようになりました。

がんを早期発見・早期治療することは、健康寿命を延ばすことにつながります。

PET-CT がんどックについて

PET-CT 検査は、放射性薬剤（FDG）を静脈注射し安静にしているだけで、体への負担が少なく一度に全身の検査を行うことができます。

放射性薬剤（FDG）ががん細胞に集まりPET-CTの装置で撮影することで、がんの有無や、悪性度などがわかります。また同時に行うCT検査から、がんの部位や形態などの追加情報を得ることも可能です。

PET-CT がんどックをお勧めする方

- ご親族にがんの方が多い方
- 通常の総合検診より詳しい検査を望まれる方
- 検診で腫瘍マーカーが高いなど、心配な所見がある方

PET-CT 検査で発見されやすいがん

大腸がん・膵臓がん・乳がん・食道がん・
卵巣がん・子宮体がんなど

PET-CT 検査で発見されにくいがん

膀胱がん・尿管がん・前立腺がん・腎がん・
胃がん・肝臓がんなど

※ブドウ糖の取込みが少ないがんや糖尿病などの基礎疾患によっては、発見が困難な場合があることもご承知ください。

PET-CT がんどックの流れ

< 検査前 >

電話で仮予約 ⇒ 予約日2日前までに来院し、検査説明と同意

< 検査当日 >

受付 ⇒ 更衣 ⇒ 問診 ⇒
 注射 ⇒ 1時間安静 ⇒ 排尿 ⇒
 撮影 (20~30分) ⇒ 検査結果の説明 ⇒ 帰宅



検査費用

がんどックは保険外診療のため、検査費用とお薬代で95,000円（税込）となります。

PET-CT がんどックをご希望の方や気になる方はお気軽にお問い合わせください。

当院ホームページにも詳しい内容が掲載されておりますのでご覧ください。



岩国医療センター PET-CT がんどック [検索](#)

岩国医療センター 放射線科

電話番号：0827-35-5656

問合せ時間：平日 9:00 ~ 15:00



「外来」のご紹介



外来看護師長
藤中 智美



一般外来

当院の外来は外科、心臓血管外科、整形外科、呼吸器外科内科、循環器内科など多岐にわたる診療科があり、1日平均約500名の患者さんの診療を行っています。

私たちが患者さんやご家族とかがわる時間は受診時の短時間かもしれませんが、来院される患者の皆様がその人らしく地域で健康に生活できるように、患者さんとそのご家族に寄り添い安心・安全で質の高い看護が提供できるようにスタッフ全員で日々取り組んでいます。

中央処置室、内視鏡センター、外来化学療法センター、血管連続撮影室

中央処置室では1日平均200名の患者さんの採血や点滴などを実施しています。採血や点滴をさせて頂く際は、患者誤認を防ぎ安全に処置を行うために、患者さんより名前を名乗って頂いています。何度も確認をさせて頂くことがありますがお理解とご協力をよろしくお願い致します。



内視鏡センターは気管支・喉頭・咽頭・食道・胃・膵胆管・大腸・小腸など、身体の様々な部位の内視鏡検査・治療を行っています。内視鏡技師免許を持つスタッフを中心に専門的な処置・治療の介助が安全に提供できるように日々技術の向上に努めています。

外来化学療法センターは年間4,554件の化学療法を行っています。安全で確実な治療を行うために医師、薬剤師、管理栄養士など多職種と連携しチームで患者支援を行っています。

外来化学療法は働きながらがん治療を継続している方も多くおられます。治療に伴う副作用と上手に付き合いながらその人らしい生活を送れるように副作用の対処法や生活の調整など患者さんと一緒に考えながら、提案やアドバイスも行っています。患者さんが不安なく治療が継続できるように、在籍する「がん化学療法認定看護師」を中心に患者さんのサポートをさせて頂いていますので遠慮なくお気軽にご相談ください。



血管連続撮影室では心臓カテーテル検査、経皮的冠動脈形成術、ペースメーカー植え込み術などの循環器系の検査・治療や、脳神経外科領域の検査、脳血管内手術（脳動脈コイル塞栓術、血行再建術など）も行っています。

専門性の高い看護が求められる血管連続撮影室では医師をはじめ、放射線科技師、臨床工学技士など多職種スタッフと連携しながら、患者さんが不安なく安全な検査・治療を受けることができるようにチーム一丸となって医療を提供しています。



救急外来の看護

救急外来では救急患者さんを24時間365日受け入れて治療・看護を行っています。救急外来では突然の事故や病気の発症によって来院される患者さんに対して迅速で適切な医療を提供するとともに、急な出来事に不安を抱いている患者さんとそのご家族に寄り添いながら看護を行っています。



最後に

患者さんがその人らしく地域で生活できるように、外来スタッフ一丸となって支えていきたいと思っております。外来受診の際には私たち看護師にお気軽に声をかけ下さい。



緩和ケアとリハビリテーション

～リハビリの目的と役割について～

リハビリテーション科
理学療法士

森田 真人



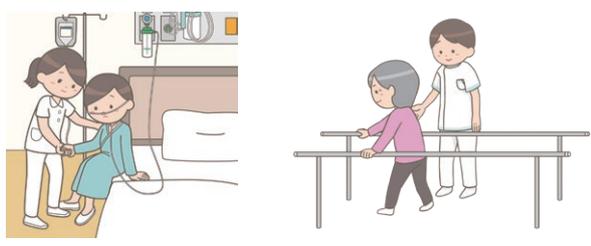
リハビリは、ケガや病気で弱った体や心を回復させ、日常生活にスムーズに復帰できるよう助ける大切な取り組みです。ここでは、緩和ケアとリハビリの目的・どんなことをするかを紹介していきます。

緩和ケアにおけるリハビリの目的

緩和ケアにおけるリハビリは、患者さんの生活の質を少しでも良くするための大切なサポートです。病気が進行している方にとって、毎日の生活を少しでも楽に、快適に過ごせるように体と心の手助けをするのがリハビリの目的です。

リハビリでどんなことする？

体力や筋力を維持できるように、日常生活の動作をサポートすることが中心になります。例えば、ベッドから起き上がったたり、椅子に座ったり、歩いたりといった動作をできる範囲で無理なく行えるように、一人ひとりにあった運動や訓練を行います。



また、リハビリは「痛みなく立つにはどうすればいいの?」「息苦しさを減らす方法ってあるの?」という実際の悩みに答えることができます。運動や動作を少し工夫することで、患者さん自身が「まだできることがある」と前向きに感じられるようにサポートします。



具体的にはどんなことするの？

1. 呼吸リハビリ

呼吸を楽にするための腹式呼吸や座った姿勢で深呼吸を行うことで、呼吸がしやすくなります。



2. 軽い運動

無理のない範囲での軽い運動やストレッチを行います。

例) 足踏み・腕の上げ下げ



3. 日常生活動作の支援

トイレや入浴などの日常生活動作を自分で行えるようにサポートします。必要に応じて補助具を使用します。



4. 痛みの管理

痛みを和らげるためのリハビリを行い、身体的な苦痛の軽減を行っていきます。

例) マッサージ・動作指導・環境整備





医師の異動

2024年11月30日 退職
糖尿病・内分泌内科医師
天田 雅文

2025年1月1日 採用
消化器内科医師
松村 吉晃



謹賀新年



いつも『岩国医療センターだより』をお読みいただきありがとうございます。
本年もどうぞよろしく
お願いいたします。(広報委員会)

新任医師の紹介 *New doctors*

令和6年10月に着任した医師を紹介します。(順不同)

①趣味・特技 ②自己PR・メッセージ



呼吸器内科医師
山下 真弘 (やました まさひろ)
専門領域：呼吸器内科

- ① 将棋、ポケモン
- ② 患者さんに寄り添った医療を提供できるよう尽力します。よろしくお願いします。



呼吸器内科医師
西 達也 (にしたつや)
専門領域：呼吸器内科全般

- ① ソフトテニス、ルービックキューブ
- ② 下松市出身です。岩国医療センターで後期研修をした後、大学で5年ほど研究などをしてこの度帰ってきました。またよろしくお願いします。

『ほっとサロン虹』のご案内

がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。事前申込み不要ですので、お気軽にご参加ください。(地域医療連携室)

開催日	テーマ	講師
1月17日	栄養相談会	栄養士
2月21日	お薬相談会	薬剤師

開催日時：毎月第3金曜日(8月を除く)
14:00～15:00

対象：がん患者さんとご家族
(院外の方も参加できます)

場所：2階患者図書室



最終順位

順位	チーム名
1	ブルーノリダー
2	The Wolfpack
3	宮内デストロイヤーズ
4	イクターズ
5	キム様の会
6	5東
7	肋骨プレイカース改め ネッククリッパーズ
8	チーム検査科

『院内ソフトボール大会』を開催しました！

日時：2024年11月30日(土)
場所：愛宕スポーツコンプレックス
ソフトボール会場A・B



岩国医療センターに隣接するスポーツ施設にて、第24回院内ソフトボール大会を開催し、8チーム140名が参加しました。

8チームのうち“勝数の多いチーム、失点の少ないチーム、得点の多いチーム”、これらが同じ場合は“各チーム5名のじゃんけんで3名が勝ったチーム”というルールによるリーグ戦を行い、熱戦の末「ブルーノリダー」が優勝しました！

